

Learning

生涯学習 だより



中央公民館 ☎ 42局 7200 番

人権について学んでみませんか

町内の小・中学校生を対象に少年期人権啓発活動として、「鞍手町人権子ども会」活動を行っています。宿題や自学自習をしたり、人権レクリエーションをしたり、であい学習「みて・きいて・心で感じる」学習を下記のとおり行っています。参加の方法等、詳細については、教育課生涯学習係までお問い合わせください。皆さんも参加してみませんか。

曜日	対象者	ところ
月曜日	鞍手中学生	鞍手中学校
水曜日	室木小、西川小の児童	八尋集会所
金曜日	新延小、古月小、剣北小、剣南小の児童	舟川隣保館

※時間は、いずれも下校時から午後6時まで



●問い合わせ 教育課生涯学習係
☎ 42局 7200 番まで

活動紹介を作成しました!!



▲令和元年の野外生活リーダー研修で火おこしをする児童



▲令和元年の子どもフェスタくらででお菓子を作っている児童



▲令和元年の子ども会体育大会でふうせんバレーをする児童たち

鞍手町子ども会連絡協議会では、地域の教育力の向上および子ども会活動の活性化に向けて、地域と連携し、青少年の健全育成を推進することを目的として活動しています。

子どもたちが積極的に参加できる活動や場作りを行い、地域間の交流を深め「地域全体で子どもを守り、育てる」という意識の確立を目指しています。

全児童を対象に、各小学校で配布しておりますので、詳細についてはお問い合わせください。

●問い合わせ 鞍手町子ども会連絡協議会（中央公民館内） ☎ 42局 7200 番まで

寺子屋に来てみませんか

くらで寺子屋は子どもたちの自由勉強や宿題等の支援を行いながら、学力向上の基礎となる学習習慣の定着を図ることを目指し、月2回実施しています。和気あいあいとした寺子屋にできるよう自学自習のほかにも工作や折り紙、本の読み聞かせなど、子どもたちが様々な形で楽しめるような時間も設けています。



子どもたちが、勉強の楽しさ・喜びなどをくらで寺子屋事業を通して感じ、この経験が「将来の夢」につながる1歩になればと願っています。



- 対象児童 小学2年生から6年生まで
- とき 毎月2回。土曜日の午前10時から11時45分まで。開催する週については、不定期のためお問い合わせください
- ところ 中央公民館
- 問い合わせ 教育課生涯学習係 ☎ 42局 7200 番まで



よくテレビ等でオミクロン株と聞きますが、「株」とは何ですか？（62歳・男性）

「株」とは

新型コロナウイルスについては、ここ数年で様々なことが発見されてきました。その中で複数の「株」が発見されており、現在は10数種類の株が発見されています。この株という単位は、人間でいう「家系」に相当するものであり、ウイルスもまた様々な環境へ感染拡大を広げ、様々な変化を遂げることで、複数の株が生まれます。

新型コロナウイルスの日本の経過について

2021年にかけて致死率の高いδ（デルタ）株が蔓延し、多くの死者を出しました。それも落ち着いてきたタイミングで、感染力の非常に強いo（オミクロン）株が2022年にかけて蔓延し、数の暴力と化

しました。これらは異なった「株」であることから別々の環境下で変異したと考えられ、したがってその特徴も異なる性質を持っています。

デルタ株とオミクロン株

近年では、この2つの株が日本で感染者数が増加した原因と考えられています。大きな違いは重症化率と感染力です。デルタ株は、しばしば肺炎をきたし、重症化を起こすことが知られています。一方で、オミクロン株は重症化が比較的少ないと言われていますが、感染力がかなり強く、感染者を増やすことが言われています。オミクロン株に関しては、重症化を起こしにくいと言われていますが、起こさないわけではありません。そのため、個々の感染対策が重要であることは言うま

でもありません。

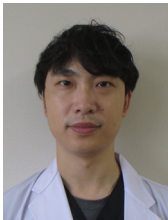
ワクチン接種とブースター効果

新型コロナウイルス感染症に対するワクチンは、mRNAワクチンという新開発のワクチンが主です。当初感染すら予防する効果があると言われていましたが、ワクチンの普及が進んだ昨今、感染予防としての効果は十分ではないとのデータも報告されています。しかし、重症化を防ぐという観点では、著しい効果が認められています。その効果を期待する意味でも、定期的なワクチン接種によるブースター効果が叫ばれています。これは、定期的に抗原（ウイルス側の要素）を体に取り込ませることに、より強固な免疫を獲得するというものです。免疫

反応は長期間の放置で減衰していくことが証明されていて、定期的なワクチン接種が求められることになるでしょう。

これからの生活について

インフルエンザウイルス感染症は、今後の新型コロナウイルス感染症の予想をする上で非常に良いモデルとなり得ると思います。毎年の変異の存在、複数種類の混合ワクチンの導入、変異株に対する迅速な対応（5類感染症から2類感染症への変更など）、治療薬の開発、どれをとっても今後の日本の対応を示唆するものではないでしょうか。新型コロナウイルス感染症も、多くの人の尽力、また医学の進歩により、インフルエンザ同等の対応ができる日も近いと信じて、皆さんの日々の生活に今一度、感染対策を意識していただければと思います。



「アドバイザー」

神田 英樹・かんだひでき・平成29年3月産業医科大学医学部医学科卒業後、平成29年4月より産業医科大学病院入職、令和3年4月より地方独立行政法人くらで病院勤務

ウイルスも様々な環境へ感染拡大を広げ、複数の「株」が生まれてきます。オミクロン株は、感染力が強く個々の感染対策が重要です。皆さんの日々の生活に今一度、感染対策を意識していただければと思います。